（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばとこころの教室 カナデル つくば教室			
○保護者評価実施期間	2025年　2月　1日	～	2025年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	48	（回答者数）	31
○従業者評価実施期間	2025年　2月　1日	～	2025年　2月　8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同席の個別療育により、療育の様子や子どもへの接しかたを間近で見て頂きます。毎回、フィードバックの時間を15分設けており、保護者への情報提供・情報共有を行っています。	45分の個別療育の中で、「早期療育」とあらかじめ設定された「設定遊び」を組み合わせて療育を提供しております。複数の療育スタッフが関わるために、療育スタッフと保護者が話をするフィードバックの時間を15分設けています。	早期療育の提供に加えて、家族や地域を巻き込んだ支援を心がけて参ります。定期的に開催している「あそびの広場」を活用して、より多くの親子の支援をおこないます。
2	保護者が小集団のグループ療育をマジックミラー越しに見学して頂き、お子様の様子を見て頂き、フィードバックの時間に療育者から説明や解説をしております。	４～６名程度の小集団によるグループ療育では、３～５名の療育スタッフにより、子ども一人ひとりの課題解決に繋がるプログラムを作成し、療育を提供しています。	個別療育とグループ療育により、子ども一人ひとりの課題を乗り越えていく力を養っていきます。幼稚園や保育園と連携を取りながら、子どもの成長を図ります。
3	「ひとりのお子様をチーム全員でみる」ことを目的に、多職種連携による療育提供を行っています。	OJTを通じて、療育スタッフ同士の学び合い、研鑽をおこなっています。療育後の振り返りの時間では、子どもの情報共有をおこなっています。	質の高い療育提供を目指して、療育スタッフ個々のスキルアップと、教室全体のボトルアップを図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間割による療育提供のため、新規のご利用希望の方に対して、曜日・時間が合わずにキャンセル待ちになることがございます。	現在ご利用中の利用者様のライフスタイルの変更等を把握し、一人でも多くの希望者を受け入れる体制を構築致します。	新規事業所の開設も検討します。
2	保育所・幼稚園から訪問依頼を受けますが、全てを受けることが出来ていません。	職員の配置を工夫して、出来る限り、ご要望にお応えして保育所や幼稚園等に訪問するようにいたします。	保育所等訪問支援事業の開設を検討致します。
3	保護者から、小学校に入学してからもフォローアップして欲しいという要望がございます。	小学校進学後もいつでも教室に電話連絡して頂けるようお伝えしております。（実績あり）	将来的に相談支援事業を開設することで、小学校の低学年までフォローアップ出来る体制を構築したいと考えています。